

川崎市立宮内中学「総合的な学習の時間」 ～海上自衛隊第2術科学校～

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は6月4日（水）、川崎市立宮内中学校の生徒7名が参加した海上自衛隊第2術科学校における「総合的な学習の時間」を支援した。

生徒が学習先として自衛隊を選んだ理由は、「国を守るために普段どんな訓練をしているのか知りたい」「自衛隊の仕事を学ぶだけでなく心を強くしたい」「父親の職場を見てみたい」等、様々。

生徒はまず基本教練を行い、慣れない足の運びや腕の振りにとまどいを見せつつも約40分間の訓練で見違える程の上達を見た。ガスタービン機関運転実習では、本物そっくりのシミュレーション器材に興味津々、熱心に艦艇操縦実習に取り組み、初めてとは思えない習熟ぶりを見せていた。

体験学習終了後、第2術科学校長から修了証書を授与され、多くの隊員に見送られ第2術科学校を後にした。

川崎出張所は、「今後も担当区内の学校に対して「総合的な学習の時間」への参加を働きかけ、自衛隊に対する理解と募集基盤の拡充に努めていく」としている。



第2術科学校長から
総合学習修了証書授与



第2術科学校長を
かこみ記念撮影



ディーゼルエンジンのピストン



ガスタービン機関運転実習室



グラウンドで基本教練

横浜東父兄会総会を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、6月21日（土）、「平成26年度横浜東父兄会総会」を支援した。

総会には今春、陸上自衛隊に子息が入隊した新会員の母親が不安の表情を浮かべながら参加していたが、総会が終わる頃には多くの父兄から励まされるなどして安堵した表情に変わっていた。

横浜出張所は、「今後も父兄会等協力団体と密接に連携し、自衛隊に対する理解と協力を得るとともに、防衛基盤の拡充及び募集活動に繋げていきたい」としている。



総会風景



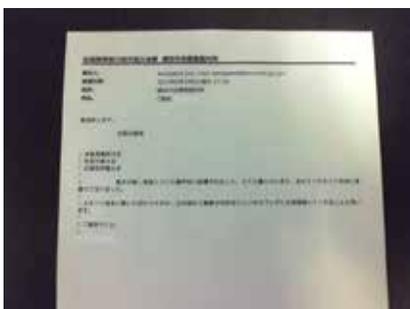
君が代斉唱

入隊者の母親からお礼のメール

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）に、6月24日（火）、平成25年度一般曹候補生として入隊した隊員の母親からメールが届いた。

「息子が強く希望していた機甲科に配属されました。とても喜んでいきます。支えてくださった本当に有難うございました。スタート地点に着いたばかりですが、心の底から戦車が好きらしいのでブレずに生涯頑張ってくれることと思います。」という内容が記されていた。

横浜中央募集案内所は、「今後も自衛官を目指す若者たちを全力で支援していく」としている。



届いたメール